

全体評価
1 総評

委員評価	業務実績評価書（案）
○<u>主な取組としては、学生に対する授業評価アンケートを実施しカリキュラムの改善に取り組んでいるほか、人間としての魅力を高めるための教育に取り組み、社会的倫理観を身に付けた人材の育成に取り組んでいる。</u> ○<u>大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するために、十分に練られた中期計画、年度計画により着実に業務を遂行し、十分評価できる成果を上げているものと判断できる。</u> ○<u>高校訪問やオープンキャンパスの実施に加え web による情報発信など、多彩な学生募集活動やオンライン出願の開始に加え、手厚い学修支援や教育改善への真摯な取組が、志願者や保護者、高校から高い評価を得ていることが窺えます。その結果として、高い志願倍率を維持できていることは、特筆すべき成果だと思います。</u> ○<u>志願者獲得に向け戦略的広報活動も実施し、高い実績をあげている。</u> ○<u>地域の政策課題に関連した研究や地域連携活動への取組、公開講座やセミナーの開催等、地域に期待され地域に貢献する大学としての使命を果たしている。</u> ○<u>青森市など地域の政策課題に関連する研究や商工関係団体等と連携した地域活動、公開講座やまちなかラボなどによる研究成果の地域への還元などに積極的に取り組んでおり、地域の大学としての使命を十分果たしていると考えます。</u> ○<u>地域貢献については、自治体や地域の企業・団体等と連携し、公開講座やセミナーの開催に取り組んでおり、課題解決や活性化に向けて取り組んでいる。</u> ○<u>令和5年度は、教育研究等の質の向上に関する取組や地域貢献に関する取組等、数多くの効果的な施策を実施し、大学改革に継続的に取り組みつつ、地域のリーダーとなるべき人材を輩出するとともに、青森市はもとより東津軽郡及び青森県における地域社会の発展にむけて取り組んでいる。</u> ○<u>経営・財務内容の改善については、受験生確保のための様々な取組により、入学者数も安定的に推移しており、大学の安定運営において最も重要な部分で成果をあげている。</u> ○<u>昨今の燃料費をはじめとする物価高騰、人件費の上昇など、大学経営を取り巻く環境が厳しさを増す中で、健全な財政運営に努めていることは、評価できると思います。</u> ○<u>新型コロナウイルス感染症が5類へと移行し、社会経済が活動再開する中、物価上昇や人件費の高騰、円安等、様々な面で大学経営を取り巻く環境は悪化しているものと理解している。そのような困難な状況下でも、充実した研究活動や教育活動を着実に実施し、中期目標の達成に向けて計画を実施していると認められ、評価できる。</u> ○<u>その他業務運営については、計画的な施設設備の整備の他、学生・教職員の健康に関する取組や人権意識の向上にもしっかりと取り組んでいる。</u> ○<u>全体としては、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であると評価できる。</u> ○<u>個別の各施策についてもしっかりと取り組んでおり、中期計画の達成に向けて、順調に実施できていると評価できる。</u>	公立大学法人青森公立大学は、教育・研究の一層の推進と活性化を図ることにより、市の発展のために必要とされる有為な人材の輩出と、大学が持つ知的財産を市民に還元し、経営経済をはじめとする各分野において、市が掲げる施策の推進に貢献し、市民の生活及び文化の向上に寄与していくことを使命としている。 ※第3期中期目標 前文 第3期中期目標期間（令和3年度から令和8年度まで）の3年目となる令和5年度は、学生に対する授業評価アンケートを実施しカリキュラムの改善に取り組んでいるほか、人間としての魅力を高めるための教育及び社会的倫理観を身に付けた人材の育成に取り組み、大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するために、十分に練られた中期計画、年度計画により着実に業務を遂行し、十分評価できる成果を上げているものと判断できる。 志願者獲得の取組については、高校訪問やオープンキャンパスの実施に加えWEB－DM発送による情報発信など、戦略的広報活動やオンライン出願の開始に加え、手厚い学修支援や教育改善への真摯な取組が、志願者や保護者、高校からの高い評価につながり、高い志願倍率を維持できていることは評価できる。 地域貢献については、地域の政策課題に関連する研究や商工関係団体等と連携した地域活動、公開講座やまちなかラボなどによる研究成果の地域への還元や活性化などに積極的に取り組んでいるほか、大学改革に継続的に取り組みつつ、地域のリーダーとなるべき人材を輩出するとともに、青森市はもとより東津軽郡及び青森県における地域社会の発展に向けて地域に期待され地域に貢献する大学としての使命を果たしているものと評価できる。 経営・財務内容の改善については、受験生確保のための様々な取組により、入学者数も安定的に推移しており、大学の安定運営において最も重要な部分で成果をあげているほか、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴う社会経済の活動再開に加え、昨今の燃料費をはじめとする物価高騰、人件費の上昇や円安など、大学経営を取り巻く環境が厳しさを増す中で、充実した研究活動や教育活動を着実に実施し、健全な財政運営に努めていることは、評価できる。 また、計画的な施設設備の整備の他、学生・教職員の健康に関する取組や人権意識の向上にもしっかりと取り組んでいることは評価できる。 その他の項目についても、順調に進捗しており、令和5年度の年度計画については、中期目標の達成に向けて、ほぼ計画どおりに実施したものと評価できる。

委員意見を踏まえた令和5年度業務実績評価（案）

2 業務の実施状況 ※事務局作成

業務実績評価書（案）
大学の教育研究等の質の向上（教育）に関して、学習成果を可視化した成績チャートの学生本人への通知や学生面談を実施し、学生の育成に取り組んでいるほか、授業評価アンケートを実施し、アンケート結果を活用したカリキュラムの改善に取り組んでいる。 志願者の獲得を図るため、県内外の高校訪問や出張講義、進学説明会、オープンキャンパスを実施し、定員の3.74倍の志願者を確保している。 大学の教育研究の質の向上（研究）に関して、研究成果を地域に還元するため、ホームページや学術リポジトリへの掲載、論纂の刊行、公開講座での積極的な情報発信に取り組んでいる。 地域貢献に関して、各種地域連携活動として、青森まるっとよいどころ祭りの開催や青森市産官学連携プラットフォームでの合同研修・研究発表の開催等を実施している。 業務運営の改善及び効率化に関して、大学運営の参考とするため審議会等の委員等から意見聴取を行ったほか、設立団体の青森市長と法人役員の意見交換を実施している。 経営・財務内容の改善に関して、検定料収入や研究関連収入、その他の外部資金の積極的な獲得活動の実施に加え、内部統制規程に基づく各種監査の実施や教職員の法令遵守に対する意識向上に取り組んでいる。 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関して、中期計画の定期的な進捗管理を行うとともに、業務実績等に係る外部評価結果を活用したPDCAサイクルによる継続的な改善に取り組んでいる。 その他業務運営に関して、インフラ長寿命化計画に基づく各種施設・設備の効果的な修繕等により、良好な学修・研究環境の整備に取り組んでいるほか、国際芸術センター青森の青森アートミュージアム5館連携への参画によるアートツーリズム誘客等のPRを実施し施設利用の促進に向けた取組を行っている。

3 組織、業務運営等に係る改善事項等

委員評価	業務実績評価書（案）
○<u>大学院については、学生確保のための努力は認められるものの、志願者の増に繋がっていない状況にあり、大学が持つ教育研究資源の有効活用・地域への還元の視点からも志願者の掘り起こしが望まれます。</u> ○<u>大学の地位を高めたと認められる研究成果を顕彰する取り組みについて、令和元年度から該当なしとなっているが、この取り組みについては、大学のステータス向上にもつながり、結果として受験者数の増加、外部資金の流入等にも寄与すると思われることから、今後の取り組みに期待したい。</u>	大学院については、学生確保のための努力は認められるものの、志願者の増につながっていない状況にあり、大学が持つ教育研究資源の有効活用・地域への還元の視点からも志願者の掘り起こしが望まれる。 大学の地位を高めたと認められる研究成果を顕彰する取組について、令和元年度から該当なしとなっているが、この取組については、大学のステータス向上にもつながり、結果として受験者数の増加、外部資金の流入等にも寄与すると思われることから、今後の取組に期待する。

委員意見を踏まえた令和5年度業務実績評価（案）

項目別評価

1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（教育）

委員評価	業務実績評価書（案）
○<u>学生の学修成果を可視化して把握し、それをもとに学修アドバイザー面談、成績不振者面談等により、きめ細かに個別指導に取り組んでいる状況は高く評価できる。</u> ○<u>成績チャートの提示、成績不振者への面談など、手厚い学修サポートができています。</u> ○<u>授業アンケート等の結果を基にした教育改善、カリキュラム改善を推進していることは評価できる。</u> ○<u>授業アンケートを活用しながら、「大学基礎演習」・「学習導入演習」等の初年次教育を充実させる教育活動は評価できる。</u> ○<u>授業評価アンケートの結果を授業の改善・教育指導に繋げる仕組みができていてこと、また、それを「見える化」していることはとても良いと思います。</u> ○<u>学生に対し授業評価アンケートを実施し、現行カリキュラムの検証・改善に繋げており評価できる。</u> ○<u>地域をフィールドにした演習科目を設定して学修機会の充実を図る教育活動は評価できる。</u> ○<u>グローバル化への対応として、語学研修や留学にも取り組むほか、オンラインでの海外研究者との共同研究や海外大学生との交流事業に取り組んでいる。</u> ○<u>さらには、人間としての魅力を高めるための教育として、芸術・文化を理解し、社会的倫理観を身に付けた人材を育成するための取り組みを行っており、非常に評価できる。</u> ○<u>高校訪問、進学説明会、オープンキャンパス、web-DM等の学生募集活動に加え、インターネット出願の導入や高大連携事業の拡大など積極的な取組が高い志願倍率に繋がっていると思います。</u> ○<u>積極的な学生募集活動と真摯な授業改善、丁寧な学修支援への取組により、高い志願倍率を維持していることは、特筆すべきと考えます。</u> ○<u>県内外の高校訪問や出張講義、進学説明会の実施など、積極的な取り組みによって、少子化の環境下でも志願倍率3.74倍を達成した点は高く評価できる。</u> ○<u>学生の受け入れの面では、志願者増加のために様々な取り組みを実施し、一般選抜では定員の3倍以上の志願者を確保するなど高い実績をあげており評価できる。</u> ○<u>入学生が県内出身の方が多くてとても良いと思う。</u> ○<u>高校における出前講座、講演会等の開催に関して、志願者獲得のみを目指した高大連携事業に留まらず、高校教育と大学教育の接続、あるいは地域貢献という観点からの事業展開も期待したい。</u> ○<u>大学院生の確保について、トップセールスなどいろいろ御尽力されておりますが、社会人の学びに関する意識やニーズの把握など、今後の志願者増につながる取組が期待されます。</u> ○<u>大学院志願者の確保についても、より一層の取り組みを期待したい。</u> ○<u>学生の「出口戦略」として、企業連携推進員を中心とした県内外の企業訪問、学生のインターンシップへの参加促進など、多様な取組により支援体制を強化していることは評価できる。</u> ○<u>就職活動へのサポートについては、新たにミーティングボックスを設置するなどキャリアセンターの充実が図られており、特に県内就職に向けての様々な取組を実施されていることが、高い就職率の維持に繋がっていると考えます。</u> ○<u>手厚いキャリアサポートの結果として、高い就職率を維持していることは、高く評価できると思います。</u> ○<u>キャリア支援においても、全国平均値を上回る就職率であり、各種取り組みが成果を上げた結果となっており、非常に評価できる。</u> ○<u>全体として、中期計画達成に向けて順調な進捗状況であると評価できる。</u> ○<u>全体としては、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であると評価できる。</u> ○<u>多方面で良く頑張っていらっしゃると思います。</u>	学生の学修成果を成績チャートとして可視化して把握し、それをもとに学修アドバイザー面談、成績不振者面談等により、きめ細かに個別指導に取り組んでおり、手厚い学修サポートができていることは高く評価できる。 学生に対し授業評価アンケートを実施し、結果を基にした教育改善、カリキュラムの検証及び改善を推進し、それを「見える化」していることや「大学基礎演習」・「学習導入演習」等の初年次教育を充実させる教育活動を実施していることは評価できる。 地域をフィールドにした演習科目を設定して学修機会の充実を図っている点や、グローバル化への対応として、語学研修や留学にも取り組むほか、オンラインでの海外研究者との共同研究や海外大学生との交流事業に取り組んでいる点は評価できる。さらには、人間としての魅力を高めるための教育として、芸術・文化を理解し、社会的倫理観を身に付けた人材を育成するための取組を行っており、高く評価できる。 県内外の高校訪問、出張講義、進学説明会、オープンキャンパスの実施やWEB-DMの発送などの積極的な学生募集活動やインターネット出願の導入や高大連携事業の拡大など積極的な取組によって、少子化の環境下でも一般選抜において志願倍率3.74倍を達成したことに加え、授業改善、丁寧な学修支援への取組により、高い志願倍率を維持していることや県内からの志願者を多く獲得していることは高く評価できる。 今後は高校における出前講座、講演会等の開催に関して、志願者獲得のみを目指した高大連携事業に留まらず、高校教育と大学教育の接続、あるいは地域貢献という観点からの事業展開も期待する。 大学院志願者の確保について、社会人の学びに関する意識やニーズの把握など、今後の志願者増につながるより一層の取組を期待する。 学生の就職活動へのサポートについては、企業連携推進員を中心とした県内外の企業訪問、学生のインターンシップへの参加促進に加え、新たにミーティングボックスを設置するなどキャリアセンターの充実が図られており、特に県内就職に向けての様々な取組を実施し、手厚いキャリアサポートの結果として、全国平均値を上回る高い就職率を維持していることは、高く評価できる。 全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。

委員意見を踏まえた令和5年度業務実績評価（案）

2 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置（研究）

委員評価	業務実績評価書（案）
○<u>青森学術文化振興財団助成事業に11件が採択されているなど、外部資金を活用しながら、地域課題や国際的課題の研究を推進していることは評価できる。</u> ○<u>戦略的研究費の更なる活用、外部からの研究費の拡大等により、研究活動の活性化が望まれます。</u> ○No. 53 <u>基礎研究及び応用研究の推進について、個人研究費の配分が、定員2名に対して0名であったことが多少気掛かりである。連続して0人とならないよう、ご留意いただきたい。</u> ○<u>ホームページや学術リポジトリ、論纂の公開など、積極的に大学情報の発信や研究成果の公表に取り組んでいることは評価できる。</u> ○<u>公開講座、まちなかラボ等による研究成果の地域への還元を積極的に行っていることは、地域の大学として望ましいことだと思います。</u> ○<u>ホームページや学術リポジトリ、論纂の刊行や公開講座の放映など、学内外へ積極的に研究成果の発信を行っているほか、公開講座を5講座開催するなど研究成果の社会還元に取り組んでおり、評価できる。</u> ○<u>青森市産官学連絡会議等の共同研究活動や産官学金連携の取組に参画し、事業を推進していることは評価できる。今後とも積極的な参画、事業の推進を期待したい。</u> ○<u>市が抱える課題解決に向けて、青森市産官学連絡会議等と連携しながら共同研究に取り組んでいる活動は評価できるものである。より研究を深めて頂きたい。</u> ○<u>地域の抱える課題の解決に向けた研究を、自治体や関係団体と連携して行っており、地域の大学としての役割を十分果たしていると思います。</u> ○<u>大学の地位を高めたと認められる研究成果を顕彰するという項目について、令和6年度からあらたな基準を設けるとのことなので、今後の計画実施に期待したい。</u> ○<u>大学の地位を高めたと認められる研究成果を顕彰する取り組みについては、令和元年度から該当なしとなっていることから、今後に期待したい。</u> ○<u>全体としては、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であると評価できる。</u>	青森学術文化振興財団助成事業に11件が採択されているなど、外部資金を活用しながら、地域課題や国際的課題の研究を推進していることは評価できる。 引き続き、外部からの研究費の拡大等により研究活動の活性化に取り組み、基礎研究及び応用研究の推進について、教員及び研究員に配分している研究費等が最大限活用されるよう期待する。 ホームページや学術リポジトリ、論纂の刊行やケーブルテレビ及びまちなかラボにおける公開講座動画の公開など、学内外へ積極的に研究成果の公表・発信を行っているほか、公開講座を5講座開催するなど積極的に研究成果の社会還元に取り組んでいることは、地域の大学として望ましいことであり評価できる。 青森市産官学連絡会議等の共同研究活動や産官学金連携の取組に参画し、市が抱える課題解決に向けて事業を推進し、地域の大学としての役割を十分果たしていると判断でき、評価できる。引き続き積極的な参画、事業の推進を期待する。 大学の地位を高めたと認められる研究成果を顕彰するという項目について、令和元年度から該当なしとなっているが、令和6年度から新たな基準を設けることから、今後の計画実施に期待する。 全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。

委員意見を踏まえた令和5年度業務実績評価（案）

3 地域貢献に関する目標を達成するための措置

委員評価	業務実績評価書（案）
○<u>地域住民を対象とした公開講座の実施や青森ケーブルテレビでの放映を通して、教員の研究成果を社会に還元しようという取組は評価できる。</u> ○<u>大学の教育研究資源や成果を「まちなかラボ」、「地域公開講座」などを通じて地域の方々に還元していることは、大変良いことだと思います。</u> ○<u>青森まるっとよいどころ祭りの開催、「創業・企業セミナー」の開催、青森市ビジネスアイデアコンテスト等への積極的参画等、着実に取り組みを実施しており、評価できる。</u> ○<u>青森市学生ビジネスアイデアコンテストへの参画など地域連携活動に積極的に取り組んでいるほか、地域の大学間の連携強化にも取り組んでおり評価できる。</u> ○<u>地域の大学間連携による地域課題解決等の事業に取り組んでいることは大変評価できる。今後は、更なる取組を期待したい。</u> ○<u>青森県・県内自治体、企業等との連携の取り組みについては、21 あおもり産業総合支援センターと連携した創業・起業のセミナーの開催など、多様な取り組みを実施しており評価できる。</u> ○<u>青森市をはじめとする自治体や産業振興団体等との連携事業に積極的に取り組んでおり、地域の大学として地域産業の活性化に貢献していると思います。</u> ○<u>地域貢献活動に必要な交通手段を確保し、学生・教職員が活動に参加しやすい環境を整備・支援している状況は評価できる。</u> ○<u>行政施策の遂行のために教員等が青森市の各種審議会や委員会の委員等に就任し、その知見を表明していることについては大学の使命を果たしているものといえる。</u> ○<u>中枢都市圏構想に係る地域定着促進事業への取り組みなど、地域課題の解決に向けた市の政策に積極的に関与する姿勢は、地域の大学として望ましい姿だと思います。</u> ○<u>青森圏域連携中枢都市圏の取り組みに積極的に参画し、圏域内の課題解決や活性化に取り組んでおり、非常に評価できる。</u> ○<u>新型コロナウイルス感染症が5類へと移行し、今後ますます社会経済活動が活発になっていくことが想定されるので、今後とも地域経済活動への積極的な参画を期待したい。</u> ○<u>全体としては、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であると評価できる。</u>	地域住民を対象とした公開講座の実施、青森ケーブルテレビでの放映やまちなかラボの活用を通して、大学の教育研究資源や成果を地域社会に還元しようという取組は評価できる。 青森まるっとよいどころ祭りの開催、公益財団法人21あおもり産業総合支援センターと連携した「創業・企業セミナー」の開催、青森市ビジネスアイデアコンテスト等への積極的参画等、多様な地域連携活動に着実に取り組み、地域産業の活性化に貢献しているほか、地域の大学間の連携強化にも取り組んでいることは高く評価でき、今後も更なる取組を期待する。 また、地域貢献活動に必要な交通手段を確保し、学生・教職員が活動に参加しやすい環境を整備・支援している状況は評価できる。 行政施策の遂行のために教員等が青森市の各種審議会や委員会の委員等に就任し、その知見を表明していることや、青森圏域連携中枢都市圏構想に係る地域定着促進事業への取組など、地域課題の解決に向けた市の政策に積極的に関与しており、地域の大学としての使命を果たしているものといえる。 今後ますます社会経済活動が活発になっていくことが想定されるので、引き続き地域経済活動への積極的な参画を期待する。 全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。

4 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

委員評価	業務実績評価書（案）
○<u>事務の適正な配分・効率化のための業務内容や外部化等を検証し、情報処理システムの活用などにより、事務処理を見直し合理化を図ったことは評価できる。</u> ○<u>必要な人材確保や人事評価の試行等、着実に実施していると認められ、評価できる。</u> ○<u>ホームページやSNSの活用、イメージ動画の配信等により、大学の広報活動を推進させたことは評価できる。</u> ○<u>戦略的かつ機動的な大学運営を図る目的から、法人経営と教学全般を包括する戦略会議を定期的に開催している。</u> ○<u>戦略会議の開催、市長と理事との意見交換など、課題を踏まえた大学運営の方向性等について自由に意見交換をする場が設けられていることは、風通しの良い大学運営や設置団体と法人との方向性を確認する上で重要なことだと思います。</u> ○<u>経営審議会、教育研究審議会等の委員からの意見聴取の機会として会議を開催するほか、設立団体の青森市長との意見交換を開催するなど、運営体制の改善に向けて積極的に取り組んでおり、評価できる。</u> ○<u>全体としては、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であると評価できる。</u>	事務の適正な配分・効率化のための業務内容や外部化等を検証し、情報処理システムの活用などにより、事務処理を見直し合理化を図っているほか、必要な人材確保や人事評価の試行等、着実に実施していると認められ、評価できる。 ホームページやSNSの活用、イメージ動画の配信等により、大学の広報活動を推進したことは評価できる。 戦略的かつ機動的な大学運営を図る目的から、法人経営と教学全般を包括する戦略会議の定期的な開催に加え、経営審議会、教育研究審議会等の委員からの意見聴取の機会として会議を開催するほか、設立団体の青森市長と理事との意見交換など、課題を踏まえた大学運営の方向性等について自由に意見交換をする場が設けられていることは、風通しの良い大学運営や設置団体と法人との方向性を確認する上で重要なことであり、運営体制の改善に向けて積極的に取り組んでおり評価できる。 全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。

委員意見を踏まえた令和5年度業務実績評価（案）

5 経営・財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

委員評価	委員評価業務実績評価書（案）
○<u>受験生確保のために延べ188校の高校訪問を実施し、入試情報の提供及び要望等を聴取したことは大いに評価できる。大学の教育研究内容、学生生活等の更なる情報発信を期待する。</u> ○<u>受験生確保のための積極的な取組により受験者数も順調に推移し、その結果、入学者数も安定的に推移しており、大学の安定運営のために最も重要な部分について成果をあげており評価できる。</u> ○<u>燃料費・電気料金、その他諸物価の高騰や人件費の上昇など、大学の財政を取り巻く環境が厳しさを増す中で、選択と集中による予算の効率的執行に努めていることが分かりました。</u> ○<u>科学研究費補助金等の外部研究費の申請に積極的に取り組んだことは評価できる。今後、これまで以上に採択されることを期待したい。</u> ○<u>自己収入の確保に向け、大学施設・設備の外部貸し出し、協力金の募集等に積極的に取り組んでいるほか、研究関連の外部資金獲得も増加するなど、計画は達成できていると思います。</u> ○<u>経営環境が悪化している中、外部資金の獲得活動や経費抑制への取り組みにより、経営・財務内容の改善に取り組んでいると認められ、評価できる。</u> ○<u>外部資金を獲得するための様々な取組も実施しており評価できる。</u> ○<u>内部統制の観点から、日常的モニタリングや独立的評価を実施しているほか、教職員の規範意識を向上させるためコンプライアンスの学内研修を実施しており、非常に重要な取組であり評価できる。</u> ○<u>教職員の法令遵守に対する意識向上のために、学内研修の実施や学外研修への参加を促していることは評価できる。</u> ○<u>全体としては、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であると評価できる。</u>	受験生確保のために延べ188校の高校訪問を実施し、入試情報の提供及び要望等を聴取したことにより、受験者数も順調に推移し、その結果、入学者数も安定的に推移しており、大いに評価できる。 更なる受験生確保のため、大学の教育研究内容、学生生活等のより積極的な情報発信を期待する。 燃料費・電気料金、その他諸物価の高騰や人件費の上昇など、大学の財政を取り巻く環境が厳しさを増す中で、選択と集中による予算の効率的執行に努めているほか、自己収入の確保に向け、大学施設・設備の外部貸し出し、協力金の募集や科学研究費補助金等の外部研究費の申請を推進し、経営・財務内容の改善に取り組んでいることは評価できる。 今後は科学研究費補助金等の申請がこれまで以上に採択されるよう更なる取組を期待する。 内部統制の観点から、日常的モニタリングや独立的評価を実施しているほか、教職員の規範意識を向上させるため、コンプライアンスの学内研修の実施や学外研修への参加を促していることは、非常に重要な取組であり評価できる。 全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。

6 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置

委員評価	業務実績評価書（案）
○<u>中期計画や年度計画の進捗管理を定期的 to 実施するとともに、法人の業務実績について自己点検・自己評価し、第三者機関による評価を受けている。評価結果を大学運営に反映させ継続的に改善を図るとともに、その反映状況について、ホームページ等で公表あるいは教職員への情報共有など全学的な改善に向けた意識の向上を図るとともに、情報公開により運営全般に透明性を確保しており評価できる。</u> ○<u>中期計画については1月～2月、年度計画については11月以降定期的に進捗状況を確認し次年度の計画に反映させたり、事務局内で情報共有したりするなどして、適切に取り組んでいると判断できる。</u> ○<u>評価機関による認証評価、独法評価委員会による年度計画の評価結果について、学内周知、外部への公表、改善への取り組みが適切に行われていると思います。</u> ○<u>第三者機関による外部評価や、PDCA サイクルによる継続的な改善を図る等、中期計画を着実に実施していると認められ、評価できる。</u> ○<u>全体としては、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であると評価できる。</u>	中期計画や年度計画の進捗管理を定期的 to 実施するとともに、法人の業務実績について自己点検・自己評価し、第三者機関による評価結果を大学運営に反映させ、PDCA サイクルによる継続的な改善を図っている。また、その反映状況についてホームページ等での公表や教職員への情報共有など全学的な改善に向けた意識の向上を図っているほか、情報公開により運営全般に透明性を確保しており評価できる。 全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。

委員意見を踏まえた令和5年度業務実績評価（案）

7 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

委員評価	業務実績評価書（案）
○<u>学修環境や教育研究環境を確保するために講義室の机・椅子、映像機器や音響機器の更新を行い、学びの場の整備に努めていることは評価できる。</u> ○<u>教育研究用施設・設備について、効率的な予算執行の下で整備・更新が計画的に行われていることが分かりました。</u> ○<u>施設設備の整備については、インフラ長寿命化計画に基づき計画的に取り組んでおり評価できる。</u>	学修環境や教育研究環境を確保するために、効率的な予算執行の下で、講義室の机・椅子、映像機器や音響機器の更新を行い、インフラ長寿命化計画に基づき計画的に学びの場の整備に努めていることは評価できる。
○<u>図書館の利活用のために、イベントを実施したり、利用方法を紹介する動画を作成・配信したりしている取組は学生の学修の充実に資するものと評価できる。</u>	図書館の利活用のために、イベントの実施や利用方法を紹介する動画の作成・配信に取り組んでいることは、学生の学修の充実に資するものと評価できる。
○<u>国際芸術センター青森における小中学生等対象の創作体験等の教育プログラムの実施、市民を対象とした展覧会やワークショップの開催は、地域の大学として大いに社会貢献しているものと評価できる。</u> ○<u>国際芸術センター青森において、市内小中学生等を対象にした事業を継続するとともに、青森アートミュージアム5館連携協議会に参画し、アートツーリズム誘客等のPR事業を実施しており評価できる。</u> ○<u>国際芸術センターの活用促進について、小中学生を対象とした校外学習プログラムの実施など、活用促進に向けた取組を今後も継続していただきたいと思います。</u> ○<u>国際芸術センターについては、今後も、様々なアイディアを出していただき、地域の貴重な財産として活用促進に取り組んでいただければと思います。</u>	国際芸術センター青森における小中学生等対象の創作体験等の教育プログラムや市民を対象とした展覧会やワークショップの開催のほか、青森アートミュージアム5館連携協議会に参画し、アートツーリズム誘客等のPR事業を実施していることは、地域の大学として大いに社会貢献しているものと評価でき、今後も、様々なアイディアを出し、地域の貴重な財産として活用促進に取り組んでいただきたい。
○<u>大学施設・設備の外部貸し出しに積極的に取り組まれていることは、自己収入の確保につながるとともに、地域の貴重な財産の有効活用にも繋がり、地域貢献の面からも引き続き取り組んでいただきたいと思</u> <u>います。</u>	大学施設・設備の外部貸し出しに積極的に取り組んでいることは、自己収入の確保だけでなく、地域の貴重な財産の有効活用にもつながり、地域貢献の面からも引き続き取り組んでいただきたい。
○<u>消防訓練・避難訓練については、防災対策と危機管理体制の強化という計画を設定していることから、確実かつ真摯に全学体制で取り組んでいただきたい。</u>	消防訓練・避難訓練については、防災対策と危機管理体制の強化という計画を設定していることから、確実かつ真摯に全学体制で取り組んでいただきたい。
○<u>ハラスメント防止の取り組みについて、外部の専門家を招いて実践的な研修を実施する等、積極的な取り組みがあり、評価できる。</u> ○<u>健康診断やストレスチェックの実施、ハラスメントの防止及び相談窓口の明記など、学生・教職員の健康や人権意識の向上にしっかりと取り組んでおり評価できる。</u>	健康診断やストレスチェックの実施、外部の専門家を招いた実践的なハラスメント防止のための研修の実施や相談窓口の明記など、学生・教職員の健康や人権意識の向上にしっかりと取り組んでおり評価できる。
○<u>全体としては、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況であると評価できる。</u>	全体として、中期計画の達成に向けて順調な進捗状況にあると評価できる。